

【広島】ORCAグループ

は2003年に鳥取県米子市でスタートした。行政書士法人ORCAを中心に、全国で相続に関するさまざまなサービスを提供する。地域銀行や信用金庫などと相続手続きの代行業務で提携し、相続人など遺族の満足度を高めて預金流出

# 預金を地方に残したい

防止に貢献している。代表行政書士の倉敷昭久氏(64)にサービスの特徴を聞いた。

◇ 創業のきっかけは。

「行政書士の資格を取得した後、地元の葬儀社の相談役になったことをきっかけに相続手続きの仕事を受けるようになった。葬儀社と連携して全国でサービスを提供するようになった」  
——サービスの特徴を。  
「提携先の紹介を受けた

## 行政書士法人ORCA

代表行政書士

倉敷 昭久 氏



相続人に対して、米子市のコールセンターから行政書士による無料相談を提案する。無料相談は全国47都道府県で可能で、行政書士の資格を持つ専門家が対応している。成約後は戸籍を集めたり財産調査、遺産分割

協議書の作成など相続手続きを代行する」

——スタッフの体制は。  
「コールセンターは約40人体制で運営している。事務に関しても米子市のセントラルオフィスで一括処理しており、約140人に対応する。行政書士はグループ全体で全国に約60人を配置しており、年間で約1万5千件の案件に対応できる」

——提携先との事例は。  
「地域銀約10機関、信金4機関と提携している。そのほかにも複数の金融機関と提携に向けて準備中だ。ある地銀では年間約1千件

程度を成約している。サービスをご利用いただいた相続人の満足度を高めて、預金をもとの金融機関に残すお手伝いができればと考えている。23年8月には信託業務も始めた。葬儀費用30万〜100万円を利用できるので、相続発生前から預金者にアプローチできる」

——メッセージを。  
「生まれ育った米子を元気にする一助になればと拠点は地元に向けた。スタッフも山陰の方を多く採用している。金融機関と協力しながら地方のお金を地方に残し、地元の活性化につなげていきたい」(樋野正人)

# インサイト

insight

キーパーソンに聞く

<106>

